



# 2023年3月期 決算説明資料

---

2023年5月30日

 古河機械金属株式会社

東証プライム

証券コード：5715

# 2023年3月期決算および通期業績予想（連結）

## 【業績】

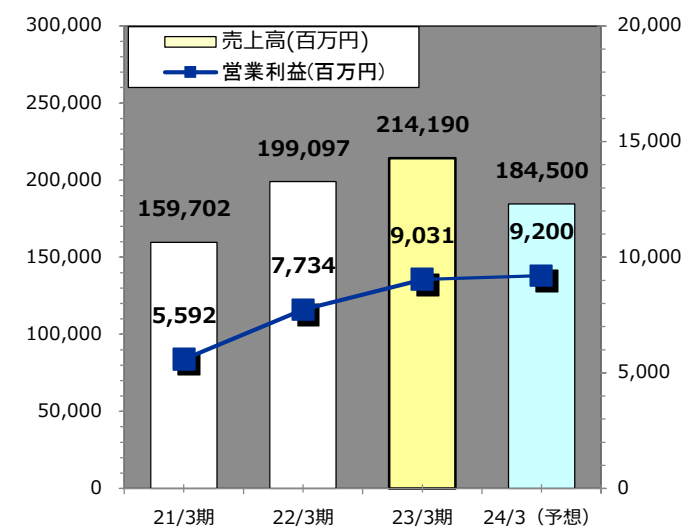
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	対前期増減
売上高	159,702	199,097	214,190	15,093
営業利益	5,592	7,734	9,031	1,297
営業利益率	3.5	3.9	4.2	0.3
経常利益	6,773	8,996	9,348	351
親会社株主に帰属する当期純利益	7,468	6,477	6,211	△ 266
年間配当金	50円	50円	50円	—

2024年3月期 (予想) ※ (2023年5月29日発表)	対2023年3月期 増減
184,500	△ 29,690
9,200	168
5.0	0.8
9,200	△ 148
15,300	9,088
50円	—

※2024年3月期（予想）については、2023年5月12日発表の決算短信の数値ではなく、2023年5月29日発表の「2024年3月期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」の数値に変更しております。

## 【財務状況】

	2022年3月期	2023年3月期	対前期末増減
総資産	229,727	232,745	3,017
純資産	100,075	106,050	5,975
自己資本比率	42.3	44.2	1.9
1株当たり純資産	2,505.01	2,700.87	195.86
ROE	6.9	6.2	△ 0.7



## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	対前期増減
売上高	199,097	214,190	15,093
売上原価	172,995	185,575	12,579
(売上総利益)	26,101	28,615	2,513
販売費及び一般管理費	18,366	19,583	1,216
営業利益	7,734	9,031	1,297
営業外収益	3,044	3,146	101
受取配当金	752	847	95
持分法による投資利益	370	-	△370
為替差益	677	1,462	785
その他	1,244	836	△408
営業外費用	1,782	2,829	1,047
支払利息	427	501	73
持分法による投資損失	-	860	860
休鉱山管理費	812	814	2
その他	543	654	110
経常利益	8,996	9,348	351
特別利益	1,113	410	△703
固定資産売却益	76	47	△28
投資有価証券売却益	92	362	269
負ののれん発生益	833	-	△833
その他	111	0	△111
特別損失	972	1,252	279
固定資産除売却損	157	302	145
減損損失	11	133	122
子会社整理損	-	324	324
賃貸ビル解体費用	668	470	△197
その他	135	19	△115
税金等調整前当期純利益	9,137	8,506	△630
法人税、住民税及び事業税	2,715	2,811	96
法人税等調整額	△264	△762	△497
当期純利益	6,686	6,457	△229
非支配株主に帰属する当期純利益	208	245	36
親会社株主に帰属する当期純利益	6,477	6,211	△266

円安により為替差益を計上

持分法適用会社である日比共同製錬(株)の業績悪化等により投資損失を計上

前期に山石金属(株)の株式取得に伴う負ののれん発生益を計上

ロックドリル部門の海外販売子会社2社(パナマ、中国)の清算に伴う費用を損失計上

古河大阪ビルの解体工事進捗分の費用

# 連結貸借対照表、キャッシュ・フロー

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	対前期末 増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	96,238	99,882	3,644
固定資産	133,489	132,862	△626
有形固定資産	90,976	90,981	5
無形固定資産	376	317	△58
投資その他の資産	42,136	41,563	△573
<b>資産合計</b>	<b>229,727</b>	<b>232,745</b>	<b>3,017</b>

受取手形、売掛金及び契約資産の増加など

投資有価証券の売却による減少など

<b>負債の部</b>			
流動負債	59,859	63,111	3,252
固定負債	69,793	63,583	△6,209
<b>負債合計</b>	<b>129,652</b>	<b>126,695</b>	<b>△2,957</b>

<b>純資産の部</b>			
株主資本	80,570	83,971	3,401
資本金	28,208	28,208	-
資本剰余金	2	2	-
利益剰余金	54,557	58,847	4,290
自己株式	△2,197	△3,086	△888
その他の包括利益累計額	16,683	18,974	2,291
非支配株主持分	2,821	3,103	282

<b>純資産合計</b>	<b>100,075</b>	<b>106,050</b>	<b>5,975</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>229,727</b>	<b>232,745</b>	<b>3,017</b>

## ■ 有利子負債（借入金）

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	対前期末 増減
短期	8,331	7,449	△882
長期	57,339	55,399	△1,939
<b>有利子負債合計</b>	<b>65,671</b>	<b>62,848</b>	<b>△2,822</b>

## ■ 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期 増減
営業キャッシュ・フロー	8,768	6,148	△2,620
投資キャッシュ・フロー	△5,857	△1,617	4,239
財務キャッシュ・フロー	△6,568	△5,934	633
現金及び現金同等物の 期末残高	14,468	13,606	△862

# 部門別業績（連結）

（単位：百万円）

売上高	2022年3月期	2023年3月期	対前期 増減
機械事業	76,938	81,658	4,719
産業機械部門	17,723	17,943	220
ロックドリル部門	30,910	35,752	4,841
ユニック部門	28,305	27,961	△343
素材事業	118,163	126,804	8,640
金属部門	102,995	111,424	8,429
電子部門	7,271	6,926	△345
化成品部門	7,896	8,454	557
不動産事業	2,115	2,056	△58
その他	1,879	3,671	1,791
合計	199,097	214,190	15,093

営業利益	2022年3月期	2023年3月期	対前期 増減
機械事業	4,679	6,093	1,414
産業機械部門	1,396	1,515	118
ロックドリル部門	1,117	3,030	1,913
ユニック部門	2,165	1,547	△617
素材事業	2,349	2,309	△40
金属部門	940	1,276	336
電子部門	666	500	△165
化成品部門	743	532	△210
不動産事業	743	835	92
その他	17	△133	△150
調整額	△54	△73	△18
合計	7,734	9,031	1,297

2024年3月期 (予想)	対2023年3月期 増減
87,000	5,341
18,500	556
36,000	247
32,500	4,538
91,600	△35,204
74,800	△36,624
7,700	773
9,100	645
1,700	△356
4,200	528
184,500	△29,690

2024年3月期 (予想)	対2023年3月期 増減
7,400	1,306
1,500	△15
3,100	69
2,800	1,252
1,600	△709
500	△776
400	△100
700	167
400	△435
△150	△16
△50	23
9,200	168

	2023年3月期	対前期 増減
為替	135.5円/\$	23.1円/\$
銅価	8,551 \$/ト>	△1,140 \$/ト>

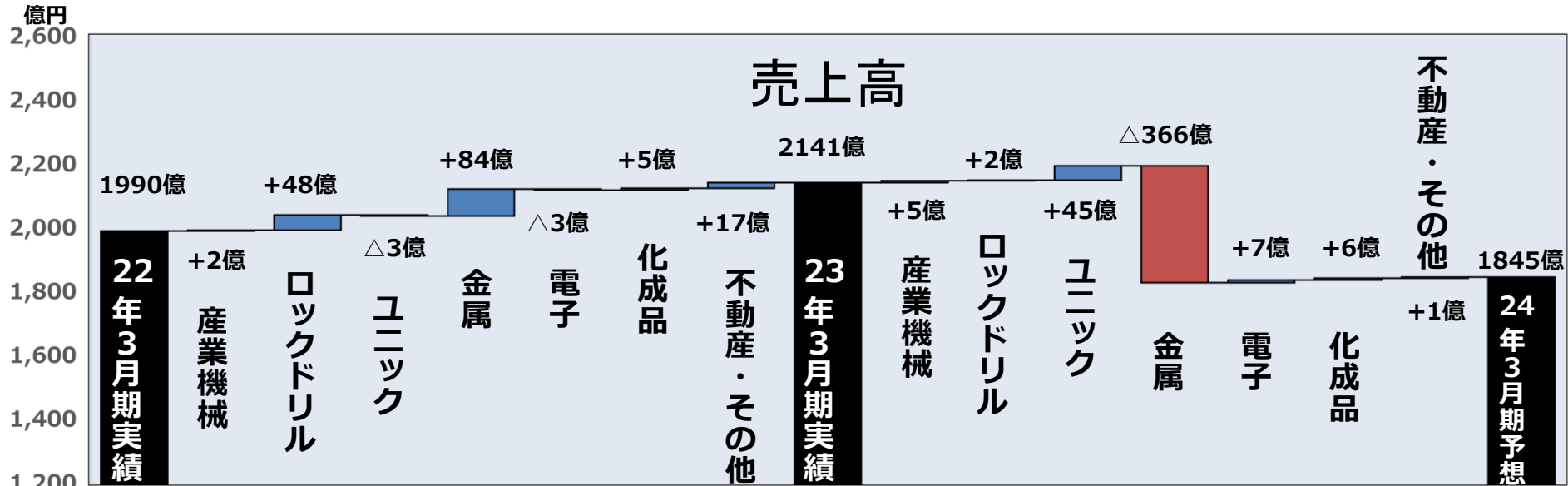
	2024年3月期 (予想)	対2023/3期 増減
為替	135.0円/\$	△0.5円/\$
銅価	8,000 \$/ト>	△551 \$/ト>

為替感応度について

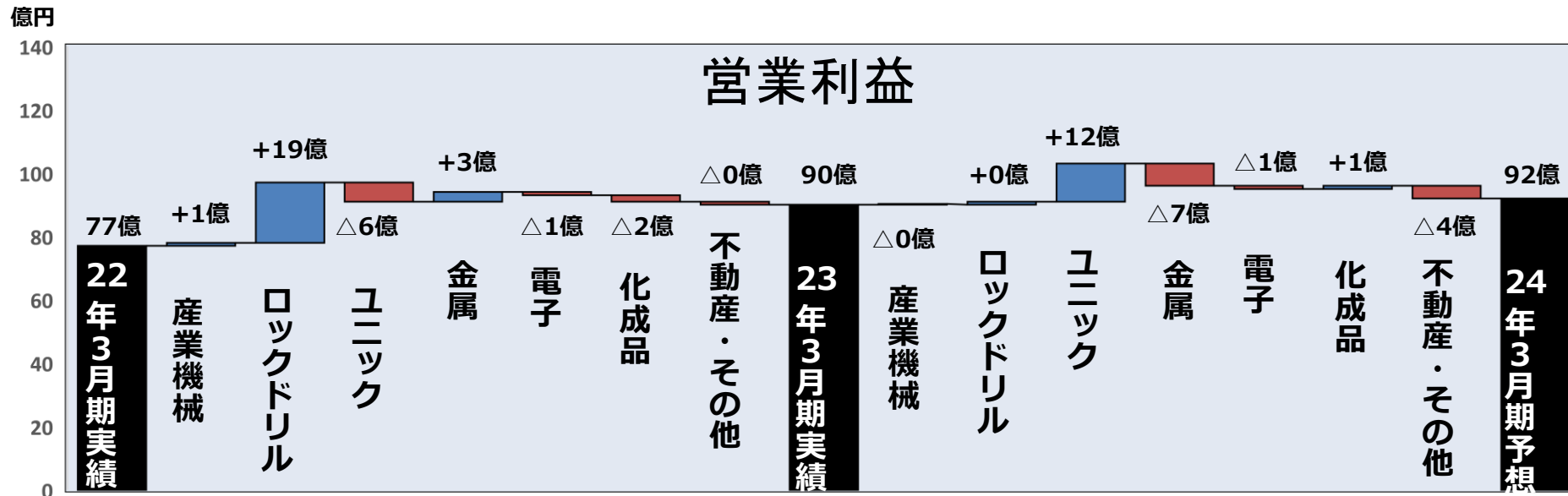
1円の円安で年間約1億円の営業利益増

- ・機械事業（主にロックドリル部門）で約60百万円増
- ・金属部門で約40百万円増

# 部門別業績の増減（連結） / 対前年同期比



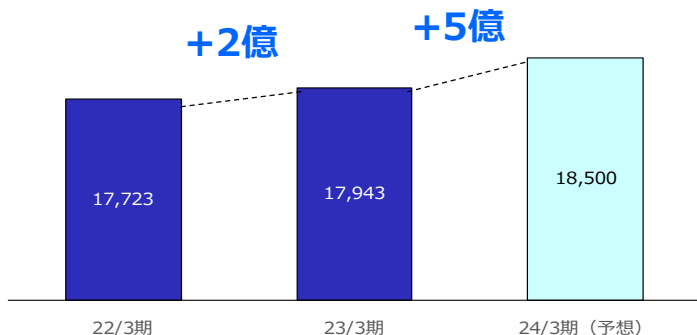
産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門、金属部門、電子部門、化成品部門については、次ページ以降で詳細に説明。



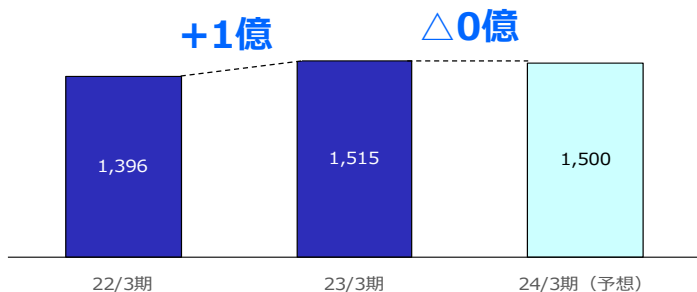
不動産事業  
2024年3月期は、主カビルである室町古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）の事務所テナントの減床、賃料単価の低下を見込み、減収減益予想。



## 売上高 (単位: 百万円)



## 営業利益 (単位: 百万円)



## ■ 2023年3月期の主な増減要因

### 【売上高】

- ・ポンププラント、環境製品、橋梁は増収、マテリアル機械は減収。
- ・大型プロジェクト案件等の出来高に応じた売上高の計上も工事延期等により減収。

### 【営業利益】

- ・環境製品の増収等による増益。

	2023年3月期	対前期増減
受注残	142億円	48億円

### 【流体設備】

森ヶ崎水再生センター、他

### 【マテリアル機械】

日鉄スラグ製品向け破碎プラント、  
琉球セメント向け砕石プラント、他

### 【橋梁】

清水IC第3高架橋、鷹栖第一橋他2橋、他

### 【ベルトコンベヤ】

ダムコンクリート搬送設備、トンネル掘削土砂搬送設備、他

## ■ 2024年3月期 (予想) の主な増減要因

### 【売上高】

- ・老朽化設備の更新が見込まれるポンプおよびマテリアル機械、橋梁等で増収予想。

### 【営業利益】

- ・環境製品の減収により営業利益は横ばい予想。

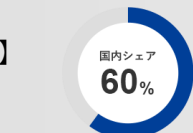
## ■ 参考

### ポンプ

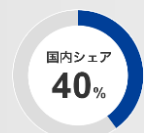
【強み】 鉱山開発で培われた耐久性、耐摩耗性等に優れたポンプ製品

【向け先】 シールドトンネル工事現場、下水処理場等

【シェア】



下水処理用汚泥ポンプ



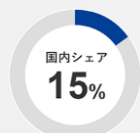
スラリーポンプ

### マテリアル機械

【強み】 機械の製造・販売をはじめ、セクションプラントに対応

【向け先】 砕石場、石灰鉱山、製鉄所等

【シェア】



破碎機

### コントラクタ事業

【強み】 工事の設計から施工まで一貫して受注できる総合力

【向け先】 鋼橋梁の新設工事、土砂搬送工事等

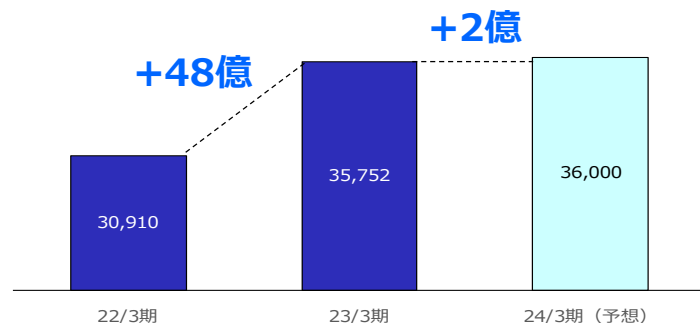
【注目】

ダンプトラックに替わる土砂搬送方法としてベルトコンベヤが注目、引き合い件数も増加

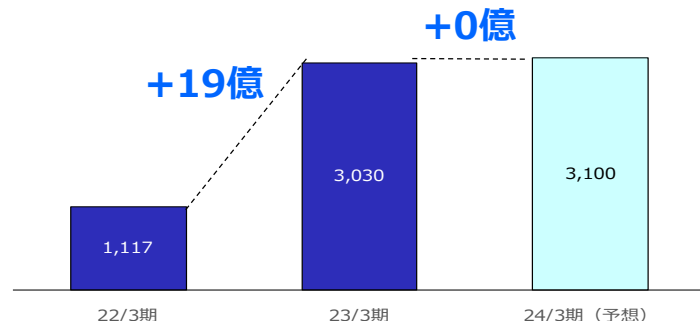
# 部門別業績（ロックドリル部門）



## 売上高（単位：百万円）



## 営業利益（単位：百万円）



## ■ 2023年3月期の主な増減要因

### 【売上高】 国内141億円 海外215億円

- ・国内外ともに増収。（国内+9億円、海外+39億円）
- ・国内は、油圧ブレーカの出荷増、トンネルドリルジャンボの高機能機種、部品の出荷増等により増収。
- ・海外は、主に北米で油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、部品の出荷増に加え、円安により増収。

### 【営業利益】

- ・増収による増益。

## ■ 2024年3月期（予想）の主な増減要因

### 【売上高】 国内140億円 海外220億円

- ・トンネルドリルジャンボはリニア中央新幹線の工期遅れなどで減収予想も、主として大型機市場の開拓を推進する北米、受注が好調な東南アジアで増収予想。

### 【営業利益】

- ・円安による増収効果があった2023年3月期並みの営業利益予想。

## ■ 参考

### 油圧ブレーカ

【強み】 小型から超大型までラインナップ  
高品質かつ高打撃力

【向け先】 砕石場等の露天掘り現場、  
土木・建築現場等

【シェア】



### 油圧クローラドリル

【強み】 岩盤の状態に応じた正確かつ  
スピーディーな掘削技術

【向け先】 石灰鉱山等の露天掘り現場、  
海外のインフラ整備等

【シェア】



### トンネルドリルジャンボ

【強み】 山岳トンネルや長大トンネルでの  
数多くの実績

【向け先】 山岳トンネル工事現場、  
ダム等の導水路工事現場等

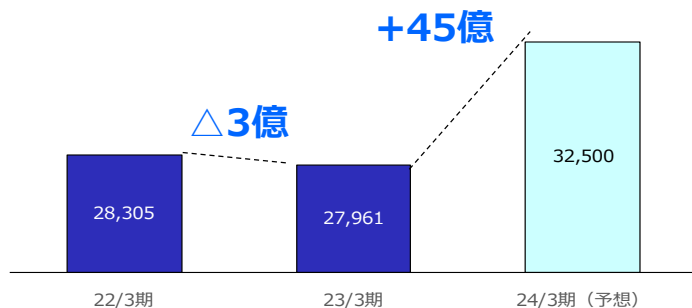
【シェア】



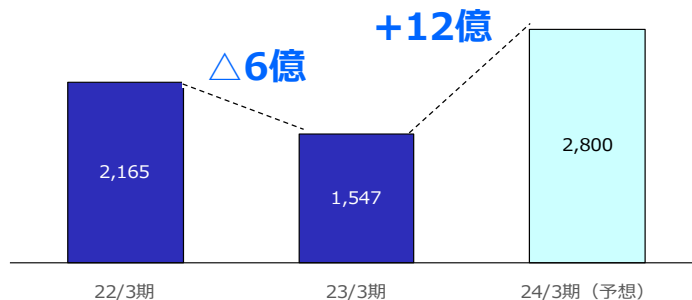




## 売上高（単位：百万円）



## 営業利益（単位：百万円）



### ■ 2023年3月期の主な増減要因

#### 【売上高】 国内200億円 海外78億円

- ・国内は減収、海外は増収。（国内△20億円、海外+16億円）
- ・国内はトラックの生産遅延・減産によるクレーン架装遅れ等により減収。
- ・海外は欧米でミニ・クローラクレーン、東南アジア、オセアニア、中近東でユニッククレーンの出荷増により増収。

#### 【営業利益】

- ・海外は増収増益も、鋼材などの原材料価格の値上げ等による原価率悪化により減益。

### ■ 2024年3月期（予想）の主な増減要因

#### 【売上高】 国内245億円 海外80億円

- ・トラックの生産回復傾向にある国内で大幅な増収予想。

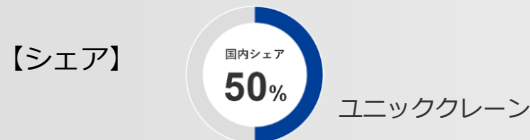
#### 【営業利益】

- ・増収による増益予想。

## ■ 参考

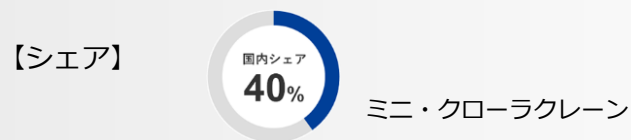
### ユニッククレーン

- 【強み】 ニーズに合わせたブーム段数等豊富にラインナップ
- 【向け先】 土木・建築現場、資材運搬、レンタル会社等



### ミニ・クローラクレーン

- 【強み】 コンパクトなボディで狭小地や不整地、屋内作業現場で威力を発揮
- 【向け先】 狭小地や不整地、屋内作業現場、レンタル会社等



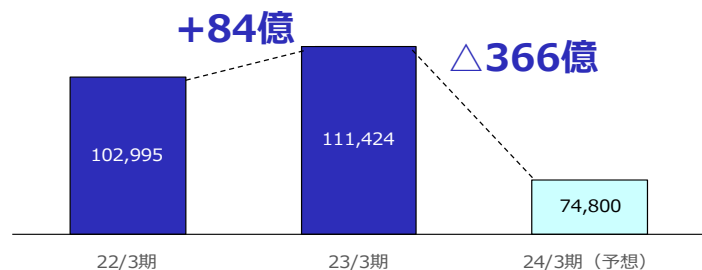
### ユニックキャリア

- 【強み】 車載専用型や重機運搬型等の充実のラインナップ
- 【向け先】 自動車販売会社、運搬会社、道路施設会社等

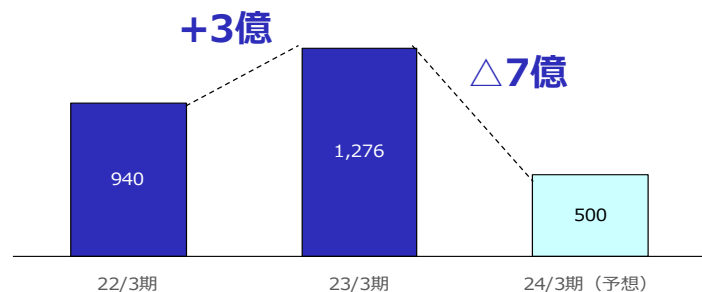




## 売上高 (単位: 百万円)



## 営業利益 (単位: 百万円)



## ■ 2023年3月期の主な増減要因

### 【売上高】

- 電気銅の販売数量減も、電気金の販売数量増、円安等により増収。  
 銅 +14億円 (数量△36億円、単価+51億円)  
 金 +69億円 (数量+36億円、単価+32億円)

### 【営業利益】

- 金属価格変動影響による価格差益により増益。

金属価格変動影響による損益について

	2023年3月期	対前期増減
営業利益	12.7億円	3.3億円
内価格影響分	11.8億円	△3.3億円
銅	(0.7億円)	(△11.0億円)
金	(10.2億円)	(7.5億円)

	2023年3月期	対前期増減
為替	135.5円/\$	23.1円/\$
銅価	8,551 \$/ト>	△1,140 \$/ト>

	2024年3月期 (予想)	対2023/3期増減
為替	135.0円/\$	△0.5円/\$
銅価	8,000 \$/ト>	△551 \$/ト>

## ■ 2024年3月期 (予想) の主な増減要因

### 【売上高】

- 小名浜製錬(株)との委託製錬契約を終了 (2023年3月末) したことにより、電気銅の販売数量が減少 (△21,594トン) することを主因として減収予想。  
 銅 △273億円 (数量△233億円、単価△40億円)  
 金 △84億円 (数量△78億円、単価△6億円)

### 【営業利益】

- 委託製錬収支の改善も、金属価格変動による価格差益を見込まないため減益予想。  
 △7億円 (委託製錬損益+7億円、価格差益△15億円)
- 2023年3月期の金属価格変動分を除く営業利益0.9億円、2024年3月期の営業利益予想は5億円で、委託製錬損益は改善を見込む。

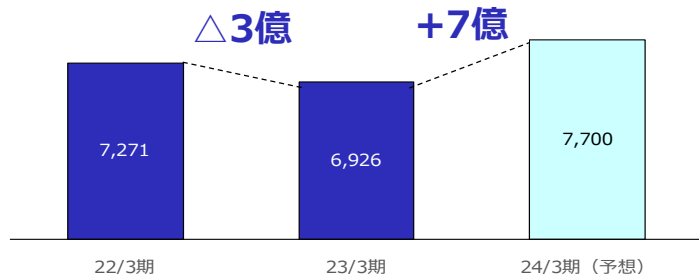
## ■ 参考

### 電気銅

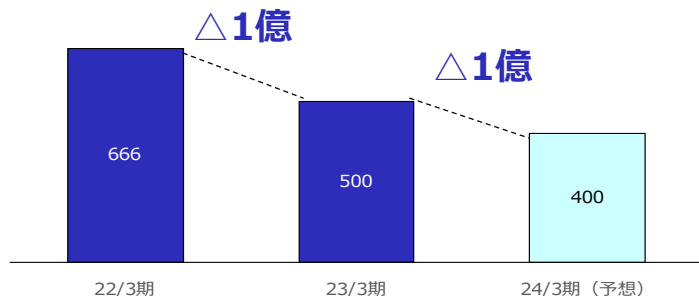
- 【強み】 創業当時から電気銅の供給責任を果たし、年間約4.6万トン生産
- 【向け先】 電線、伸銅品、家電製品、通信機器、自動車等
- 【2023年度】 小名浜製錬(株)との契約終了に伴い委託製錬事業の抜本的な見直しにめど、不採算の輸出大幅減



## 売上高（単位：百万円）



## 営業利益（単位：百万円）



### ■ 2023年3月期の主な増減要因

#### 【売上高】

- ・高純度金属ヒ素は化合物半導体向け市場の在庫調整で減収。
- ・窒化アルミセラミックスは熱対策部品向けや半導体製造装置用部品向け等の需要が堅調で増収。

#### 【営業利益】

- ・高純度金属ヒ素の減収等による減益。

### ■ 2024年3月期（予想）の主な増減要因

#### 【売上高】

- ・高純度金属ヒ素は下期以降に需要回復を見込み、増産設備投資を実施した窒化アルミセラミックス、自動車市場が回復傾向のコイルは増収予想。

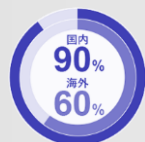
#### 【営業利益】

- ・電気料金や原材料価格の上昇等の影響により減益予想。

### ■ 参考

#### 高純度金属ヒ素

- 【強み】 国内で唯一世界最高純度99.999995%（7N5）の高純度金属ヒ素を生産し、世界シェアトップ
- 【用途】 PC、スマートフォン、赤外線発光部品、赤色LD・LED等
- 【シェア】



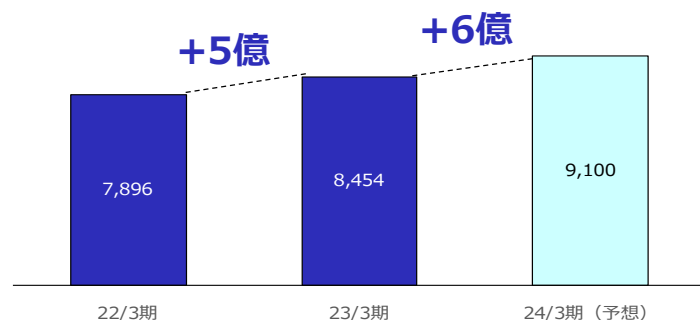
高純度金属ヒ素

#### 窒化アルミセラミックス

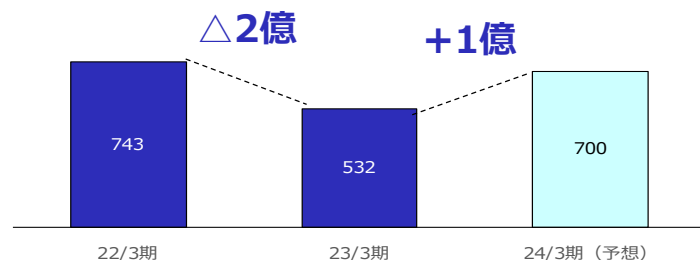
- 【強み】 熱伝導性、絶縁性、均熱性、耐食性に優れた放熱部材で当社独自の成型・焼成・加工技術
- 【用途】 半導体製造装置用部品、高出力LED、樹脂製放熱シート等
- 【フル生産】 優れた放熱部材としての認知が広がりつつあり、需要拡大によるフル生産が継続、増産投資を実施



## 売上高（単位：百万円）



## 営業利益（単位：百万円）



### ■ 2023年3月期の主な増減要因

#### 【売上高】

- 酸化銅はパソコン需要の減少により販売数量減となり減収。
- 亜酸化銅は船底塗料の需要回復、銅価上昇等により増収。

#### 【営業利益】

- 原料価格の上昇等により減益。

### ■ 2024年3月期（予想）の主な増減要因

#### 【売上高】

- 需要が堅調な酸化銅等により増収予想。

#### 【営業利益】

- 増収による増益予想。

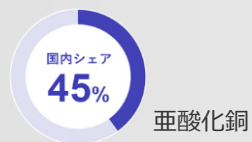
## ■ 参考

### 亜酸化銅

【強み】 船底へのフジツボ等の付着を防止する船底塗料用防汚剤

【向け先】 船底塗料メーカー等

【シェア】



### 酸化銅

【強み】 パッケージ基板等の回路形成用めっきシステムに適した銅原料

【向け先】 パソコンやサーバー等に使用されるパッケージ基板製造メーカー等

【生産力増強】 電子材料の小型化や高性能化により、パッケージ基板は今後需要増が見込まれ、現有設備の生産力増強を予定

### 硫酸

【強み】 硫黄焙焼法で不純物が少なく、食品添加物にも使用可能

【向け先】 化学・電子部材・鉄鋼・食品加工等の製造会社等

【基礎原料】 各製造会社に不可欠な基礎材料として需要は安定

## 【設備投資の状況（連結）】

(単位：百万円)

設備投資額	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
機械事業	2,637	2,669	2,125	4,600
産業機械部門	1,253	1,703	912	2,600
ロクドリル部門	437	247	708	1,100
ユニット部門	946	718	504	900
素材事業	827	696	1,571	2,500
その他	679	1,413	489	800
合計	4,144	4,778	4,187	7,900

小山工場の設備投資  
(新事務所棟建築)による増加等

群馬環境リサイクルセンターの  
医療廃棄物処理設備(焼却炉増設、  
2022年度から2023年度まで総額  
約28億円)の新設による増加等

電子部門で窒化アルミセラミックス  
生産設備(総額約10億円)の新設  
による増加等  
化成品部門で硫酸製造設備更新等

不動産事業でビル買収等  
その他で本社移転工事費等

## 【減価償却費の状況（連結）】

減価償却費	3,879	4,003	4,114	4,300
-------	-------	-------	-------	-------

## 【金属製品・為替の状況（連結）】

		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
銅 海外相場 (平均)	¢/ポンド	312.0	439.6	387.9	362.9
	\$/トン	6,879	9,691	8,551	8,000
円相場 対米ドル平均(円/\$)		106.06	112.38	135.47	135.00

《古河メタルリソース(株)生産販売》	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
銅 生産量 (t)	74,386	71,149	70,186	48,592
銅 販売量 (t)	81,998	77,402	74,070	54,171

＜銅の生産量について＞

- ・2023年3月末に小名浜製錬(株)との委託製錬契約を終了し生産量は減少。  
今後はもう一つの委託先である日比共同製錬(株)のみで生産。

## 【従業員の状況（連結）】

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末	対2022年3月末増減
連結人員(名)	2,752	2,804	2,831	27

## 連結業績

(単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期(予想)
売上高	161,857	142,925	165,638	157,566	165,539	163,026	172,544	161,799	149,829	167,695	174,116	165,215	159,702	199,097	214,190	184,500
営業利益	2,303	1,597	2,821	2,154	3,363	6,886	8,925	7,988	6,545	7,820	8,915	8,693	5,592	7,734	9,031	9,200
経常利益	993	111	1,231	1,268	2,763	6,150	6,603	6,227	7,202	8,105	8,235	8,135	6,773	8,996	9,348	9,200
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 5,917	585	563	△ 1,659	2,976	3,976	9,793	5,056	4,254	4,774	4,654	4,431	7,468	6,477	6,211	15,300

## 部門別実績

### 〔売上高〕

(単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期(予想)
機械事業	62,639	44,313	47,025	53,198	56,852	71,111	75,990	72,232	66,803	73,453	77,580	82,691	68,635	76,938	81,658	87,000
産業機械部門	15,836	12,783	10,655	12,949	12,894	18,527	16,712	14,926	14,041	15,871	17,971	23,237	16,682	17,723	17,943	18,500
ロックドリル部門	29,427	20,386	23,880	24,143	23,305	26,842	30,910	30,076	26,979	30,199	30,372	27,663	24,149	30,910	35,752	36,000
ユニック部門	17,375	11,142	12,490	16,105	20,651	25,741	28,367	27,229	25,782	27,381	29,237	31,791	27,804	28,305	27,961	32,500
素材事業	80,175	82,128	92,203	77,917	88,026	90,162	93,270	85,644	78,968	89,987	92,722	79,366	88,203	118,163	126,804	91,600
金属部門	68,786	71,132	79,979	68,114	77,944	78,684	81,513	74,192	67,853	77,334	80,067	67,149	76,094	102,995	111,424	74,800
電子部門	5,568	5,969	7,147	4,615	4,987	5,381	5,743	5,477	5,816	6,307	6,527	5,506	5,741	7,271	6,926	7,700
化成品部門	5,820	5,025	5,076	5,187	5,093	6,096	6,013	5,973	5,298	6,344	6,127	6,710	6,367	7,896	8,454	9,100
不動産事業	2,386	2,043	1,577	1,233	1,058	1,013	2,535	3,045	3,074	3,338	2,999	2,386	2,107	2,115	2,056	1,700
その他	1,204	854	785	766	753	739	747	876	983	916	814	771	755	1,879	3,671	4,200
塗料部門(※1)	—	3,692	15,040	14,874	15,078	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燃料部門(※2)	15,452	9,893	9,004	9,576	3,770	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	161,857	142,925	165,638	157,566	165,539	163,026	172,544	161,799	149,829	167,695	174,116	165,215	159,702	199,097	214,190	184,500

### 〔営業利益〕

(単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期(予想)
機械事業	1,733	△ 3,022	△ 566	1,970	2,923	5,333	6,551	5,882	3,580	5,083	6,567	7,343	3,968	4,679	6,093	7,400
産業機械部門	767	433	△ 29	708	778	1,851	1,711	1,037	104	1,005	2,088	3,208	2,113	1,396	1,515	1,500
ロックドリル部門	255	△ 2,584	△ 350	333	△ 67	341	1,225	2,217	897	1,782	1,689	142	△ 1,324	1,117	3,030	3,100
ユニック部門	710	△ 870	△ 186	928	2,212	3,141	3,614	2,627	2,578	2,295	2,789	3,992	3,180	2,165	1,547	2,800
素材事業	229	3,985	3,044	325	324	1,695	1,770	983	1,870	1,648	1,396	776	1,040	2,349	2,309	1,600
金属部門	23	3,224	1,494	308	282	1,503	1,449	1,154	1,738	867	581	301	499	940	1,276	500
電子部門	4	657	1,279	△ 234	△ 262	△ 123	52	△ 368	17	330	407	△ 35	161	666	500	400
化成品部門	201	104	269	251	304	315	267	197	114	451	406	510	380	743	532	700
不動産事業	706	1,128	635	356	219	△ 43	776	1,276	1,265	1,339	1,163	735	736	743	835	400
その他	△ 304	△ 376	△ 92	△ 93	△ 63	△ 60	△ 130	△ 72	△ 126	△ 196	△ 147	△ 94	△ 82	17	△ 133	△ 150
塗料部門(※1)	—	△ 19	△ 93	△ 329	65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燃料部門(※2)	202	△ 29	△ 56	△ 13	△ 28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
調整額	△ 264	△ 69	△ 49	△ 60	△ 78	△ 39	△ 42	△ 80	△ 44	△ 55	△ 64	△ 68	△ 71	△ 54	△ 73	△ 50
合計	2,303	1,597	2,821	2,154	3,363	6,886	8,925	7,988	6,545	7,820	8,915	8,693	5,592	7,734	9,031	9,200

※1 2013年3月に㈩下ウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

※2 2012年10月に古河コマース㈱の株式譲渡により燃料部門から撤退

注:「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用(11年3月期)により10年3月期の数値を同基準に置き換えて表示しています

銅価(\$/ト)	5,864	6,101	8,139	8,485	7,855	7,104	6,554	5,215	5,154	6,444	6,341	5,860	6,879	9,691	8,551	8,000
為替(円/\$)	100.54	92.85	85.71	79.07	83.10	100.24	109.93	120.13	108.42	110.85	110.91	108.74	106.06	112.38	135.47	135.00

# 将来の見通しに関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、古河機械金属株式会社および古河機械金属グループについての予測、期待、想定、計画、認識、評価等の将来の見通しに関する記述は、当社が公表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。これらの判断および前提は、その性質上主観的なものであること、また、実際の事業環境・事業活動は、様々な潜在的リスクや不確定要因を含んでおり、それらによる影響を受けることから、本資料の将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容は、実際に生じる結果と大きく異なる可能性があります。なお、将来の見通しに影響を与え得る潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書や当社ウェブサイトの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、これらの項目に限定されるものではありません。

したがって、本資料は、記載されている経営指標や予測の達成、将来の業績等について、当社として確約または保証するものではありません。また、新たな情報や将来の事象その他にかかわらず、当社は、本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料は、利用者の責任においてご利用ください。本資料に含まれる情報の信憑性、正確性、完全性、網羅性、適時性等について、当社は一切の保証を行うものではなく、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成したものであり、いかなる有価証券の投資勧誘をも目的としたものではありません。この点を踏まえ、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関する決定は、投資者の皆様ご自身の責任においてご判断いただきますようお願いいたします。



引き続き当社へのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



△ 古河機械金属株式会社

# Intentionally Blank